



岐阜北週報

9月 基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

□ 題 字	小泉 宣昭	□ 会 長	小泉 宣昭	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	松野 秀計	2018-2019
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	辻 博	No.1735
		会報委員長	岡田一二三	18.9.19 発行

前回の記録

第 1734 回 例会 9月12日(水)
クラブフォーラム (3)
100万\$

担当：社会奉仕委員会

本日の予定

第 1735 回 例会 9月19日(水)
夜間例会

担当：会員増強委員会

次回の予定

第 1736 回 例会 9月26日(水)
早朝例会

担当：プログラム委員会

会長挨拶【小泉 宣昭 会長】



先週6日午前3時8分ごろに北海道の厚真町を震源とする震度7の地震が発生しました。地震の被害の状況がここまでひどい状況とは、昼のニュースまで全く知らなくて、北海道の全域が停電（ブラックアウト）したのは初めてです。

最近の電力会社は、無停電工事が当たり前になり、私たちの地域でも長く停電することが全くなくなりましたが、先日の21号台風の停電で何日も電気のない、ろうそくの光で生活をして、電気の有難味がわかったという話を聞きました。まだ、21号の台風被害で一部の地域では停電がまだまだ続いています。

今は、太陽光発電が一般家庭にも設置できて、

会長挨拶 続き

また、蓄電池を設置すれば停電があっても、夜も安心して生活できます。中部電力が停電になっても困ることはないのです、災害に備える点では太陽光発電、蓄電池も検討されるとよいのではと思います。

また、東日本大震災以降、自家発電機が結構見直されています。操業停止、会社休業での損害を考えると、自家発電機を設置した方が安いと、関東の被害に遭われた地域では設置工が増えています。家庭なら、防音型のガソリン発電機を設置すれば、家庭の電気は賄うことができますから、設置を検討され災害に備えるという点ではよいと思います。

今年は災害が連続で発生して、被災された各地域では大変な状況が、いまだ続いています。災害に遭われた方にはお見舞いを申し上げます。今年度の日本の経済損失は大きいものと思います。

出席報告

会員数：30名
出席数：25/30名
出席率：83.33%
欠席者：5名（出席免除 2名 90.00%）
来訪者：前若松学園 園長 土田 繁寿 様

ニコニコBOX (敬称略)

片桐順一郎：今日も元気で。

川崎 賢二：土田さん、今日はよろしくお願
い
します。

安藤 重弘：誕生日を祝っていただきありが
と
うございました。

委員会・同好会報告事項

- ・来週の夜間例会は、18時30分受付開始、19時00分開始です。よろしくお願
い
いたします。

例会行事 クラブフォーラム (3)

社会奉仕委員会 川崎 賢二 委員長



山県郡の歴史 (出身の高僧)

前若松学園 園長 土田 繁寿 様



別格寺瑞応山南泉寺について
大愚宗築について
愚堂東寔について

例会行事 クラブフォーラム (3) 続き



小泉宣昭会長 土田繁寿様

次回例会のご案内

第1736回 例会 9月26日 (水)
早朝例会

担当：プログラム委員会

会報・広報 9月担当 前田 吉彦